

平成 29 年度 横浜市学力・学習状況調査 本校集計結果について

保護者の皆様におかれましては日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。さて、2月に実施いたしました「平成 29 年度横浜市学力・学習状況調査」について、本校の調査結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

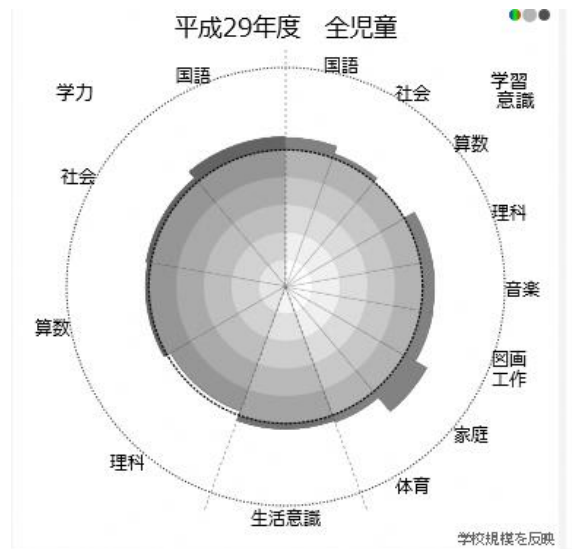
今回の調査結果は、昨年度の 1 年生から 6 年生（現 2 年生から現中学 1 年生） についてのものです。

これらのデータを分析し、日々の授業や児童指導をはじめとする教育活動の充実・向上に生かすことで、本校児童のより一層の成長につなげていきます。また、データを西中学校と共有し、併設型小・中学校として小中一貫教育の取組も充実させていきます。

1 調査結果から見た本校児童のよさと課題等（概要）

(1) 各教科の学力の状況について

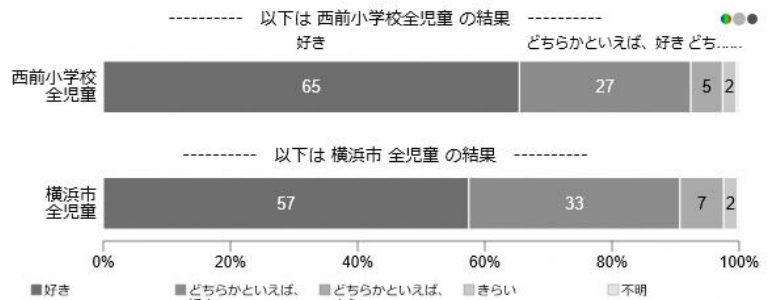
- 学校全体を見ると、本校児童の学力と学習意識の状況は、ほとんどの教科において、市全体の平均値付近にある。
※右図の着色部分が本校児童の状況、小さな円が市平均を表している。
- 学校全体を見ると、国語、算数、理科の学力を見ると、「基礎・基本問題」の平均正答率が比較的高く、「活用問題」の平均正答率が比較的低い。
- 学習・生活意識調査では、「勉強が好き」「〇〇科の学習が好き」と回答する児童が比較的多い。しかし、例えば社会科で「社会科の授業では、みんなが疑問に思ったことについて考えたり話し合ったりしていますか」、また算数科で「算数科の授業で公式やきまりを勉強するとき、どうしてそうなるかを考えるようにしていますか」等の設問に対し「している」という回答が比較的小さい。そこで、今後は各教科で、じっくり考えたり、話し合ったりする等の学習活動を充実させ、基礎・基本的な知識等を活用して「主体的に考え、判断し、学び合う子」を育てる必要がある。



(2) 学校や家庭での生活意識について

- 学校全体を見ると、「話したり、聞いたりして、人とかがかわることが好きですか」「あいさつを自分からしていますか」「一生けんめい取り組んでいることがありますか」等の設問に対して、肯定的な回答（※）をしている児童の割合が市平均より多く、本校の前年度の結果より多い。今年度初めて設けられた「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」についても、「そう思う」と回答した児童の割合が市平均より多い。縦割り活動や学級・学年活動等を通して「よりよい人間関係を築く力」の育成に取り組んできたことと、道徳科の授業に重点的に取り組んできたこと等の成果と言える。今後さらに充実させていきたい。

1.6 話したり、聞いたりして、人とかがかわることが好きですか。



(5月に学校説明会資料として全家庭に配付した本校の「いじめ防止基本方針」を、西前小ウェブページに、参考資料とともに掲載しています。ぜひご覧ください。)

- 「学校のきまりを守っていますか」と回答した児童の割合が、比較的小さい。今年度作成した「にしまえっ子の生活のやくそく」を各学級で児童と読み合わせをし、またいつでも確認できるよう教室に常備するとともに、ランドセルに携帯するように指導している。この「にしまえっ子の生活のやくそく」を活用し、児童・教職員はもちろん、保護者の皆様とも共通理解を図りながら指導していきたい。